



東小だより

学校だより 1月号
令和8年1月8日
昭島市立東小学校
校長 鈴木 正樹

子供たちの健やかな成長に向けて

校長 鈴木 正樹

新年明けましておめでとうございます。

保護者・地域の皆様には、旧年中、本校の教育活動に深い御理解と温かい御支援を賜り、心より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

冬休みが明け、いよいよ3学期が始まりました。子供たちの元気な挨拶と笑顔が学校に戻り、校舎には活気が満ち溢れています。3学期は1年のまとめの学期であると同時に、次の学年へとつながる大切な準備の期間でもあります。次のステージへ進むための大切な時間です。目標をもち、これまでの学びを確かな力として積み重ねることで、子供たちはさらに成長していきます。教職員一同、子供たちが自信をもって次の学年へ進めるよう、丁寧・確実に指導・支援していきます。

「他人の心の動きは、自分の体験に照らしてしか理解できない。」これは、ドイツの教育学者・哲学者・心理学者のシュープランガー博士（1882～1963）の言葉です。自分で実際に体験したことないと自然の豊かさや人の心の様子は理解しにくいと述べています。

確かに私たちは、実際に森林の中を歩いたときに草木の香りを感じて自然の素晴らしさを知り、人を思う体験をして初めて悲しみや喜びの気持ちを理解します。文章や言葉で自然や人間の尊さを言われても実感はしにくいものです。

さらには、自分で地道に積み重ねて体験したことは真に分かるとも言われています。例えば、テスト勉強で、塾や参考書にうまくまとめてあるものを受け焼刃で覚えて、テストが終わるとすぐに忘れてしまいます。ところが、自分でよく考え工夫してまとめた内容は不思議とよく覚えていたり、他の場面で役に立ったりすることがあります。

これは、自分で苦労して地道に繰り返した体験が人間の真の学力や対応力・判断力として根付き、応用力にもなっているからだと言えます。様々な学びを苦労して工夫し、自分で納得して楽しんでいく体験があって初めて、自分の多様な能力となっていくわけです。また、人間には、体験を基にして予測・予知する能力があることから、体験したことから飛躍した学習成果も生まれる場合があります。

子供たちには、貴重な体験・真の学びを積み重ねて、健やかに成長してほしいと願っています。

本年も、学校・家庭・地域が力を合わせ、子供たちの健やかな成長を支えていけるように、引き続き、本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願ひいたします。